



進路保障と奨学金制度

学校では「進路保障」という言葉がよく使われます。「進路保障」とは「すべての児童生徒が、自ら主体的に学ぶ意欲と態度、確かな学力と豊かな感性を高め、健康の増進を図り、さらに、進路に対する明るい展望と差別に立ち向かう強い意志を持って将来をたくましく切り拓いていく」とする態度や能力を身につけていくよう、幅広い教育活動を計画的に進めていくことです。

この「進路保障」という言葉は、1960年代の同和教育の取組のなかで言われるようになり、現在に引き継がれていいます。「進路保障」の取組の1つとして、「奨学金制度」があります。「経済的理由により進学をあきらめることなく、自らの能力や適性等にあった進路を自由に選択できるよう支援していく制度」で、先輩奨学生から返還されたお金を財源として、新たな奨学生に貸与していく制度のことです。主な奨学金には、日本学生支援機構、大阪府育英

会奨学金があり、また、家庭事情に応じて母子・父子・寡婦福祉資金貸付や生活福祉資金貸付など、様々な制度があります。

本市でも、高等学校、大学、短期大学、専門学校などに進学する希望があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な人のための「泉佐野市奨学金」制度があり、無利子の貸付を行っています。また、高等学校等進学時に要する費用の一部について、将来の夢を見据えながら真摯に学業や課外活動に取り組んでいる市立中学3年生のうち、一定の条件に該当する保護者から申請があった生徒を対象に審査の後、1人10万円を給付する高校入学準備金（給付型奨学金）を実施しています。

奨学金制度についての質問・相談などがありましたら、市役所3階学校教育課まで問い合わせてください。（市内中学校在学学生は、通学している中学校への問い合わせも可）

学校園紹介

「スマートスクール実現モデル校」として  
～新池中学校～

今年度、新池中学校は大阪府より「スマートスクール実現モデル校」の指定を受けました。



1人1台のタブレットPCを学習指導において効果的に活用し、その成果や活用事例を府全体に発信するのがモデル校の役割です。

新池中学校では、これまでも「確かな学び」を育む授業づくりを進めてきましたが、その取組をさらに発展させ、ICT機器を活用した新たな学びの創造を進めています。各教科でタブレットPCを用いた授業を展開し、校内に配備されたWi-Fi環境を利用したリモート講演会なども実施しています。3月には、生徒会が中心となって、全クラスをオンラインでつなげた全校ミーティングを行いました。ICT機器を活用した授業には子どもたちも大変意欲的です。



これまで長年培ってきた教職員の経験や技術を大切にしながら、最新のテクノロジーをうまくとり入れ、「わかったら楽しい、できたらうれしい」と全ての子どもが実感できる授業をめざしていきます。



「一歩進んだ」ICT教育へ  
～第三小学校～

本校は特認校として、市内のどこからでも通学可能な学校です。いろいろな特色を生かした教育活動を行っていますが、その一つが「ICT機器の利活用」です。すでに市内全小・中学校の子どもたちにICT端末が貸与されていますが、本校はこれまでのタブレットを活用した教育実践を活かして、「一歩進んだ」ICT教育を進めています。



コロナ禍で集合型の学びが進めにくくなっている現状ですが、リモートによる集会やリモートを活用したたてわり活動にも取り組んでいます。授業ではデジタル教科書を使用したり、端末のアンケート機能を利用した振り返りを行ったりしています。また、インターネットを使って調べ学習をしたり、自分の思いを端末に直接書き込んだり自分の意見を端末から教室のTVに投影して仲間々に伝えたりするような取組も行っています。



ICT機器の導入により、日本中、世界中とつながることが容易になりました。本年度は、さらに校外の多くの人々とつながっていけるような実践を考えています。

